通盛

[謡本] 通盛 1冊 WA7- 089-001

国立国会図書館

是ハ阿波乃門渡ヨリ一反ヲ送候
俗ニそれとも申浦ニ雪家ヲ
一つ呆竹ひたる所ニそくんを
痛リ是なる毎ニ破をよ出て
侍程を淡ニまるは俗ニも申てこ
帛ドさりや思ひは　破山ヨ
ーーー

だうの岩角ゆ
ふいさ浪の揺音計
吹渡る潮騒
いい壹山寺若種乃鶯ぜ破をく
ゆえは へおこさめ社ゆうう
秋へ 程ふ
咲のふる 皆 あれ又
こうるこうあ へけま さ社せ

老よたけまぬを 月ぞ行末社
はるなわ 以先まそ垂を
まふ法海乃潮ゆ保し浪をふ
はをたれに老乃月社 高原
ゆよ法かふへ業 うよなふ
ふ海社法ふ ふくさ垂をぐく
月乃てはあ下をふ

[謡本] 通盛 1冊 WA7- 089-004
国立国会図書館

こゝろ、こゝろ、こゝろ、

あるを思ふ子孫あるべき成をく
よき物へ　山ほどあきうひ
きよ参詣　二人の僧を
若不落ば　山ほどあるもの
屋の隅　芝火のうけ戒俗初ふ
俗語を聞きき　読誦する　お経や
いきわいるべ　ハあ　ひと

おもひ　ずきとり　火よ
明渡若海乃　弘誓源如海唐乾
ふきおきき　ふらわてゴ十
辰橋乃限表初徳用　実お数や
き強おがもて　ちうちさ間風も
芝火のうけ戒如義てく　於中
ハ冥うきうき　就如意成芝

[謡本] 通盛 1冊 WA7- 089-006
国立国会図書館

ここ
ゆゑ
こゝ
ゆゑ
ゆゑ
ゆゑ

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

清物語くん　さ屋程よ事家好
こゝゝゝ

[謡本] 通盛 1冊 WA7- 089-008
国立国会図書館

上ノ句
うたをうたまふすゝ色
流せへ業の月落心ゆや波の色て
上ノ句
落梅ゝ甘　西ハ小ゝへそ月深
いかゞ〻ゞ形ふもゝ見ハ水
ゝ
ゝ
ゝ

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

ヤキ上
他一切衆生
上内ニクル
通盛夫婦ぢ物
ねる浪乃あ
ヤキ上カル
ふしきも
ほ為乃渡ふ
ツレ上カル
ぶりわ

皆々の仏さ
程よひ〳〵世て
ゝ旅ぢ法や明
ゝも京ぢ免ぢ
ひてゝ行ふ
ゝまして
ぬあ〳〵浪の

ゝ渡ぢ明渡ふ流ぢ果しぶ
ゝ乃為乃為ぢ果あわ
甲斐ぢ常しぢ
ゝたまふ
ゝまして
名義にを
武将ふ

ヤキ上
ゝ人ぢ
ぢいぢしく
ゝのなぢ人ふく
ヤキ上ニ元
果い生田ぢ乗乃
ぢ成天下にあぢ
ゝ世ぢ成ぢ

[謡本] 通盛 1冊 WA7- 089-009
国立国会図書館

三位通盛者なるあるを
こゝハハこゝ　　　

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

かゝよ拾とひてふ、ひたまへ必殘
、、、、、、、、、、、、、、、、、、
杉丸乃侍さうはそなもわ
、、、、、、、、、、、、、、、、、、
扨をとわさいに意のよひ法ま成
、、、、、、、、、、、、、、、、、、
家たゝ祝なまし　むたゝとい
、、、、、、、、、、、、、、、、、、
だとへさ元乃頂羽言祖乃責を
、、、、、、、、、、、、、、、、、、
うけ数行虞氏の波もゝ祝ゆは
、、、、、、、、、、、、、、、、、、
ひゝてまさ原へ美ず燈圍ゝして

二、、、、、、、、、、、、、、、、、、
身ゝひひわゆさ　むうひかゝるゝ
、、、、、、、、、、、、、、、、、、
あくさ毋変よ　上　舎弟乃能登ゆ
日、、、、、、、、、、、、、、、、、、
りや甲冑をよす祝ひ法ゝ通盛を
、、、、、、、、、、、、、、、、、、
日ゝまうなゝと成そ明りるゝ祝ふ
、、、、、、、、、、、、、、、、、、
ゝゝとよはゝ里ゝ　ゝ里あゝ祝あゝ
、、、、、、、、、、、、、、、、、、
ゝ法ゝゝや能ゝゝゝ　ゝゆゝゝの弟とゝひ
、、、、、、、、、、、、、、、、、、
なゝゝ他人ゝゝわ祝耶ゝゝゝや服

こしのくに、ゆきもゆきぬ
やてきたりたるとて、行もゆきもぬ
ニトニ、ニ、ニ、

まつかうちやうぎうぎうちうん
元　下　元
太刀よりさきしちうんともり
備後之乃吾を要はあり社見を
たまき竹ひよりく弔ひてうひ竹へ
上月キリ
後鶴乃郎を中間いく悪鬼
さくゝ成やりゝけ西辱毒也乃
元　上元
あよゝ菩薩も爰よ来迄ば米就
乃服乃才咒願けうみ雑よく

国立国会図書館

[謡本] 通盛 1冊 WA7- 089-014

国立国会図書館

[謡本] 通盛 1冊 WA7- 089-015
国立国会図書館